

その他資料

労働力調査における「非正規雇用者が非正規の職に就いた理由」(全体・公務)

- 労働力調査は、全国で無作為に抽出された約40,000世帯の世帯員のうち15歳以上の者約10万人を対象とし、その就業・不就業の状態を調査(標本調査)。
- 「不本意型」非正規雇用者は、全体・公務ともに、非正規雇用者の約2割で、残り約8割は、時間の都合のつけやすさや家計の補助を得ること等を理由として非正規雇用を選択

非正規労働者が非正規の職に就いた理由(2014年)

(単位:実数は万人、割合及び構成比は%)

		総数	自分の都合のよい時間に働きたいから	家計の補助・学費等を得たいから	家事・育児・介護等と両立しやすいから	通勤時間が短いから	専門的な技能等をいかせるから	正規の職員・従業員の仕事がないから	その他
実数 (下段は割合)	非正規労働者 ^{※2} の総数	1962	462	392	211	69	151	331	216
		-	25.2	21.4	11.5	3.8	8.2	18.1	11.8
	公務 ^{※3}	38	5	6	4	1	5	7	6
		-	14.7	17.6	11.8	2.9	14.7	20.6	17.6
	転職等希望者	462	88	81	43	16	26	159	40
		-	19.4	17.9	9.5	3.5	5.7	35.1	8.8
	転職等非希望者	1467	369	309	167	53	124	169	173
		-	27.1	22.7	12.2	3.9	9.1	12.4	12.7
構成比	非正規労働者の総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	転職等希望者	23.5	19.0	20.7	20.4	23.2	17.2	48.0	18.5
	転職等非希望者	74.8	79.9	78.8	79.1	76.8	82.1	51.1	80.1

注1)「実数」欄下段割合は、内訳の合計に占める割合を示す。

注2)パート、アルバイト、嘱託員、派遣社員、契約社員、その他の区分の合計。

注3)「公務」は、日本標準産業分類に基づき、官公署(国・地方)のうち、立法事務、司法事務及び行政事務を行う事業所に雇われているもの。

任期の定めのない常勤職員数の状況（地方公務員）

（単位：人）

区 分	職員数	区 分	職員数	区 分	職員数
司書(補)・学芸員(補)	8,734	その他の一般技術関係職	61,958	電話交換手	480
医師・歯科医師	25,100	生活、作業等指導員	6,883	道路補修員	3,343
看護師	131,200	生保担当ケースワーカー	17,691	その他の技能労務関係職	29,737
保健師・助産師	37,102	五法担当ケースワーカー	7,743	社会教育主事	2,515
その他の医療技術者	39,198	査察指導員	3,207	その他の教育公務員	843,157
獣医師	6,435	各種社会福祉司	4,212	警察官	258,076
栄養士	12,464	水道等検針員・徴収員	178	交通巡視員	195
農業等普及指導員	7,580	その他の一般事務関係職	742,130	消防吏員	158,571
農林水産技師	31,797	ホームヘルパー	249	臨時職員	1,538
動植物飼育員	1,343	運転手・車掌等	17,995	合 計	2,738,337
建築技師	21,688	守衛・庁務員等	11,935		
土木技師	81,202	電気、ボイラー等技術員	4,878		
保育所保育士	83,534	調理員	26,976		
施設保育士・寄宿舍指導員等	12,410	清掃職員	27,097		
食品、環境衛生監視員	5,557	船員	2,249		

※平成27年地方公共団体定員管理調査結果による(H27.4.1時点)